

製品名: サイクリンH ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01873**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 38 kDa; Observed MW: 38 kDa

抗原情報

遺伝子名	CCNH
別名	CCNH; Cyclin-H; MO15-associated protein; p34; p37
遺伝子 ID	902
SwissProt ID	P51946
免疫原	ヒトサイクリンHの合成ペプチド

背景

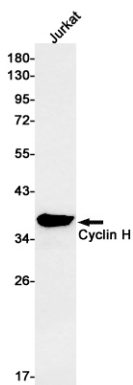
CDK 活性化キナーゼ (CAK) 酵素複合体の触媒サブユニットである CDK7 を制御します。CAK は、スレオニンリン酸化によってサイ

クリン関連キナーゼ CDK1、CDK2、CDK4、および CDK6 を活性化します。コア TFIIF 基底転写因子と複合体を形成した CAK は、その大サブユニット (POLR2A) の反復 C 末端ドメイン (CTD) のセリンリン酸化によって RNA ポリメラーゼ II を活性化し、プロモーターからの離脱と転写産物の伸長を可能にします。細胞周期制御および RNA ポリメラーゼ II による RNA 転写に関与しています。その発現と活性は細胞周期を通じて一定です。

研究分野

細胞生物学

画像データ



サイクリン H 抗体を使用した Jurkat 溶解物中のサイクリン H のウエスタン ブロット分析。